

さいたま国際芸術祭2020
開催計画が決定しました

Art  Sightama

さいたま国際芸術祭2020

平成30年7月3日（火）市長定例記者会見

さいたま国際芸術祭2020開催概要

名称 さいたま国際芸術祭2020

テーマ 花 / Flower

会期 2020年3月14日（土）～5月17日（日） [65日間]（予定）

会場 (1) メイン・エリア

現在の大宮区役所、大宮図書館などを会場として活用予定

(2) その他

彩の国さいたま芸術劇場、埼玉県立近代美術館

うらわ美術館、さいたま市文化センター

岩槻人形博物館（開館予定）など



現在の大宮区役所

東京2020大会公認文化オリンピック（申請予定）

さいたま国際芸術祭の開催にあたっては、東京2020大会公認文化オリンピックの認証を受けて実施することにより、会場所在自治体として東京2020大会の気運の醸成に貢献する

ディレクター

芸術祭の事業企画やアーティストの選定などを行うディレクターについては、企画提案方式により公募し、選考の結果、若手映画監督の遠山昇司（とおやま しょうじ）氏に決定。

ディレクター略歴

1984年、熊本県八代市生まれ。

法政大学国際文化学部卒。

早稲田大学大学院国際情報通信研究科修士課程修了。

映画作品『マジックユートピア』『冬の蝶』などで監督・脚本を務めており、国内外の映画祭において高い評価を得ている。



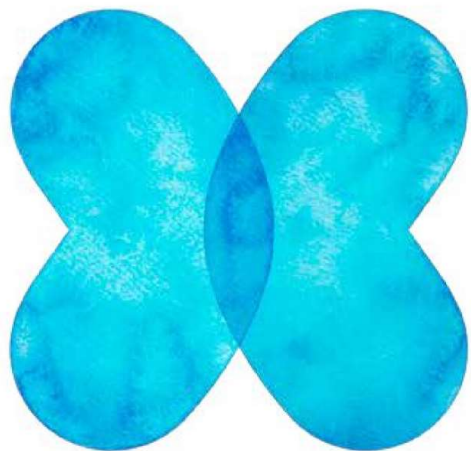
遠山氏の監督作品



遠山昇司 氏

ロゴデザイン

A R T



Sightama

さいたま

国際芸術祭

2020

コンセプト

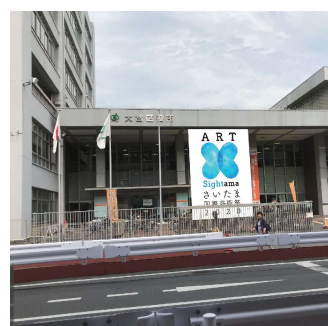
さいたま国際芸術祭2020のテーマである「花」。
アートや風景を「花」に見たて、それらひとつひとつを味わうように
渡り飛ぶ「蝶」をイメージ。
さいたまが、芸術と生活がひとつとなった「アート・サイト」に見
えてくるように、英文では「ART Sightama」と愛称をつけた。

展開例

※画像は全てイメージ



フラッグ



懸垂幕



サイネージ

事業展開 ① / アートプロジェクト

◆メイン・プロジェクト

国際的に活躍するアーティストによる作品群をメイン会場を中心に展開。

◆サブ・プロジェクト

未来の活躍が期待される新人作家や若手作家の作品を紹介し、国際芸術祭での活躍の場を提供。



チェ・ジョンファ《息をする花》 photo:KUTSUNA Koichiro,Arecibo
(さいたまトリエンナーレ2016より)



クラシックなラジオ体操 ©NPO法人インビジブル

◆ローカル・プロジェクト

市民やコミュニティが主役となるようなプロジェクトを実施し、その成果を展示、発表。

◆イベント

芸術祭の開催PRとして、参加予定のアーティストやさいたま市に縁のある著名人を招いたトークイベント等を実施。

事業展開 ② / 市民プロジェクト

◆市民企画・参加事業

これまで文化芸術活動に取り組んできた市民の方々に対し、バリエーションに富んだ開かれた参加機会を提供。



撮影：Shunya Asami

◆市民サポーター事業

サポーターが様々な形で主体的に実施する自主活動を積極的に支援し、芸術祭の開催を契機とした新たな文化芸術のネットワークを創出。



美術と街巡り（写真提供：美術と街巡り・浦和実行委員会）

◆子ども・若者等交流事業

将来の文化芸術の担い手である子どもたちを中心に、体験、発表の機会を充実させていく。



市民サポーター（さいたまトリエンナーレ2016より）

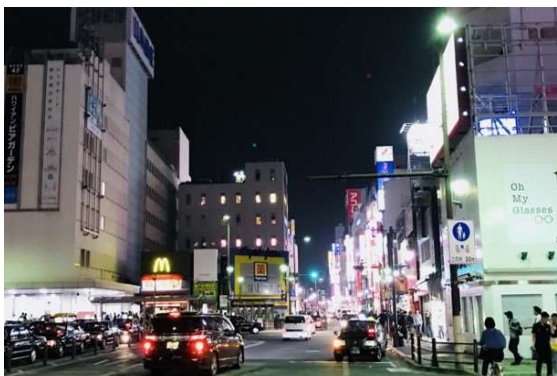
事業展開 ③ / 連携プロジェクト



1万人のゴールド・シアター2016 ©宮川舞子

◆文化施設連携事業

市内にある地域の特色ある文化施設との相乗的な連携や企画を展開し、多彩なさいたま文化を市内外に発信。



大宮駅東口周辺

◆まちなか活性化事業

開催エリア周辺の商店街や実行委員会構成員、協賛企業などが企画する事業と連携し、まちの活性化を図る。

◆庁内連携事業

芸術祭の開催時期に実施されるさいたま市主催の各種イベントとの連携を図り、庁内をあげて芸術祭に取り組む。



ウォールアートペイント（さいたまトリエンナーレ2016より）

事業スケジュール

	2018年度			2019年度				2020年度			
	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	
アートプロジェクト	アーティスト選定・作品制作準備			作品制作				さいたま国際芸術祭開催			
			先行プロジェクトの展開				制作サポーター募集・活動				
			プロジェクトの募集・制作								継続活動
市民プロジェクト			先行プロジェクトの展開				制作サポーター募集・活動				
	市民サポーターの募集・活動									継続活動	
連携プロジェクト			プロジェクトの企画・制作								

広報戦略

さいたまの芸術と生活がひとつになった 「アート・サイト」に見えてくる

具体的な広報施策など

※画像は全てイメージ

- ◆100日前PRイベントの実施
情報発信の山場を作るため、100日前から重点的に広報活動を実施
- ◆WebサイトやSNSを中心とする広報活動の展開
公式ウェブサイトを芸術祭の情報発信の中心として位置づけ、情報が外部SNSへ拡散していくような仕掛けを構築。
- ◆ツーリズムと連動した広報の実施
大宮エリア周辺のグルメ・繁華街と芸術祭の夜間鑑賞などを併せて紹介
- ◆実行委員会構成団体、庁内連携による広報活動の実施
駅に大規模なサインを掲出、市内の商店街全店舗にポスターを掲出するほか、庁内の各所管で行う事業・イベントと連携し、ポスターやチラシの設置などの情報発信を実施

